

InvestHK

2019/2020年度予算は多様化した経済開発を推進

香港の財務長官である陳茂波（ポール・チャン）氏は2月27日、2019/2020年度の予算を公表しました。経済面では、香港経済は2018年に3%の伸びを見せ、2019年は2~3%の伸びが予想されています。2018年の総合インフレ率は2.4%、基礎インフレ率は2.6%でした。2019年については、総合インフレ率と基礎インフレ率は共に2.5%と予想されています。

現在競争力を持つ産業の強化に加えて、香港は新興産業の積極的な開拓により新しい成長分野を特定しています。以下が主要な分野です。

イノベーションと技術

- より多くのテクノロジー企業およびスタートアップ企業の誘致のため、サイバーポート第5フェーズの開発に55億ドルを確保
- 大学キャンパス施設、特に研究開発施設の強化または改装のため、160億ドルを確保
- より多くの研究プロジェクトのため、研究寄付基金（Research Endowment Fund）に200億ドルを投入
- 大学、主要研究所および工学研究センターによる研究開発を支援するため8億ドルを配分
- 2019年に20億ドルの産業再生資金提供制度（Re-industrialisation Funding Scheme）を開始
- サイエンスパークの企業ベンチャーファンドを2億ドルまで拡大
- サイエンスパークに「AIとロボット技術」および「ヘルスケア技術」に特化した二つの革新的クラスターを設立


金融サービス

- 第1回グリーンボンドを政府が発行

- 海上保険および特殊損害リスクのアンダーライティングに対する税金の軽減措置
- 海上保険ビジネスに対する 50%の利益税の軽減措置
- 香港にプライベートエクイティファンドを誘致するためのリミテッドパートナーシップ制度および課税方式を検討
- 財務報告評議会に対する 4 億香港ドルの新規資金
- 金融分野のリーダー人材開発のための金融アカデミーの設立

その他

- 香港ツーリズム産業のための開発ブループリント (Development Blueprint) 実施継続に 3 億 5,300 万ドルを配分
- 映画開発ファンド (Film Development Fund) に 10 億ドルを投入
- NGO によるオンライン国際紛争処理基盤の開発支援に 1 億 5 千万ドルを配分

 www.budget.gov.hk



注目の分野：紛争解決

香港：紛争解決の主要ハブ

香港は確固とした法律サービス・セクターがあることで知られ、9,800人以上の事務弁護士（33の国・地域等の外国弁護士を含む）と約1,500人の法廷弁護士が活動しています。その内100人は香港のシニア・カウンセルです。香港には数多くの主要な国際法律事務所がオフィスを構え、銀行・金融、海運、海事、建設、知的財産、情報技術などの分野で豊富な法律専門知識を提供しています。そのような国際法律事務所は国際取引への対応において国際的な視点と経験をもって取り組むため、商事紛争を公正かつ効果的に処理することができます。

仲裁判断の世界的な承認と執行

ロンドン大学クイーン・メアリーが実施した国際仲裁調査によると、香港は2015年以来、仲裁地の選好で世界トップ5に入っています。

香港の仲裁判断は150を超えるニューヨーク条約締約国で執行可能です。これは、中国本土およびマカオ特別行政区との相互執行のためのそれぞれの取り決めによって補完されています。

香港国際仲裁センター（「HKIAC」）は香港で生まれた仲裁機関です。HKIACはグローバル・アービトレーション・レビュー誌のヒアリング・センターによる2016、2017、2018年の各調査において、場所、経済価値の評価、スタッフの有用性およびITサービスについて第1位にランクされました。

多くの著名な国際機関が、自国の管轄地以外に初めて拠点を置く場所として香港を選んでいきます。このように地元の仲裁機関と国際仲裁機関が混在していることが、アジア太平洋地域およびさらに広い地域における国際法務や紛争解決サービスの主要なハブとして、香港が発展する力になっているのです。

一帯一路構想の好機

一帯一路構想により、中国本土や同構想圏諸国で企業の活動が増えると期待されています。その分野は貿易、投資、金融、それにインフラや建設などのプロジェクトにわたります。必然的に、これらの活動や取引においては紛争が発生する可能性があります。

「一国二制度」の原則の下、香港特別行政区（HKSAR）は国際社会が慣れ親しんでいるコモン・ロー制度を維持しており、中国で唯一のコモン・ロー管轄地です。

香港は中国本土と特別な相互協定を結んでいるため、一帯一路関係の紛争解決には理想的な場所です。同協定によれば、当事者の一方が香港で決定された仲裁裁定に従わない場合、もう一方の当事者は裁定の執行を求めて中国本土の中級人民法院に申請することができます。

こうした多くの優位性があるため、香港は仲裁や調停を通じて国際法務や紛争解決のサービスを提供する主要な場所となっているのです。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

香港における紛争解決に関わるビジネス・サービスの立ち上げや拡大の機会については、以下までお問い合わせください。

お問い合わせ先：

フィリップ・クン (Philip Kung)
ビジネス・専門サービス部 部長
Tel: (852) 3107 1091
Email: pkung@investhk.gov.hk

特集：

大湾区の開発計画大綱に基づく新しいビジネスチャンス

広東-香港-マカオ大湾区（以下「大湾区」）の開発計画の大綱（以下「計画」）が、2019年2月18日付けで中央政府により公表されました。これは大湾区開発の指針となる重要な文書です。計画の背景および開発の基本原則や目的など全体の要件に加え、特に地域開発の中心的原動力としての香港、マカオ、広州、深センの四つの主要都市での建設に関わる見取り図が含まれ、そしてそれら都市が持つ比較優位性の継続的活用や近隣地域開発の牽引を拡大する影響力の強化などについての案が網羅されています。ここでは国際的なイノベーションとテクノロジーのハブ確立、インフラ接続性の促進、世界的に競争力のある現代的な産業システムの構築、環境保全の推進、生活・仕事・移動のための質の高い生活圏の確立、一帯一路構想における協力強化と共同参画、そして広東-香港-マカオ間の協力プラットフォームの共同開発に関する政策手法が、それらの実効策と共に述べられています。

この計画は、香港を国際的な航空ハブとしてだけでなく、国際的な金融、輸送および貿易の各センターとしての地位を確立および強化する、世界的なオフショア人民元ビジネスハブとしての地位および国際資産運用センターやリスク管理センターとしての役割を強化する、高級かつ高付加価値の金融、商業および貿易、物流ならびに専門サービスなどの開発を促進する、イノベーションとテクノロジー産業の開発のために多大な努力を払う、新興産業を育成する、そしてアジア太平洋地域における国際法務や紛争処理サービスの中心としての地位を確立する、といったことを支持します。

海外企業が香港を通じて大湾区を活用する数多くのビジネスチャンスには、以下のような例があります。

イノベーションと研究開発

- 海外投資家は大湾区に研究開発機関およびイノベーションプラットフォームを築くことが可能です。香港には対象となる研究開発支出への300%という大幅な課税控除やその他の支援策があり、他地域からの高等教育機関、研究開発機関および企業はこれらを活用し、大湾区でのイノベーションとテクノロジーに関するイベントへ参加することが推奨されます。イノベーションと研究開発の強みや、多くの企業が本社を香港に置いているという事実に加え、大湾区内全体で完全な産業のサプライチェーンがあるという利点も相まって、高等教育・研究開発機関や企業はそれらを香港を通じて活用することができます。
- さらにこの計画は香港、マカオ、広州および深センに対し、新しいハイテク産業における豊かな科学研究資源と確固たる基礎を活用することで、戦略的な新興産業クラスターの共同開発を呼びかけています。それは包括的な生産チェーンに十分に支えられ、他地域開発の牽引において広範な影響力を持ち、そして世界的に競争力があるものとなります。つまり、香港の研究開発機関や企業は、大湾区内の他都市とのさらなる連携から恩恵を受けることができるのです。

新たな主軸産業

- 大湾区は新しい主軸産業の開発と成長を目指しています。その例をいくつか挙げると、新世代の情報技術、バイオテクノロジー、高性能機器の製造と新素材、5Gとモバ



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

イルインターネット、知能ロボット、3D印刷、北斗（BeiDou）衛星測位システムの応用、新エネルギー車両、省エネ、そして環境保護技術などがあります。

- イノベーションとクリエイティビティはハードウェアの開発に限定されたものではなく、大湾区はデジタルおよびクリエイティブ産業にも重点を置いています。たとえば、アニメーション、コミックやゲーム、インターネット文化、デジタル文化やデジタル機器、デジタルアートやデジタル展示、映画やテレビ産業などです。また、コンベンションや見本市、eコマース、医療とヘルスケア、教育サービス、ツーリズムや娯楽などの分野においてもデジタルクリエイティビティの応用を促進しています。


世界レベルのビジネス・専門サービス業

- 世界レベルのビジネス・専門サービスを提供することは、これまでも長年にわたり香港の中核的な強みでした。この計画は、ハイエンドの海事サービス、海事法や紛争解決のサービス、航空管理のトレーニングセンターや高付加価値を持つ輸送、航空機リースと航空金融サービス、さらには会計や監査、法務・紛争処理サービス、経営コンサルティング、試験と認証、知的財産、建設や関連するエンジニアリング業務などの専門サービス業の分野においても、香港の発展を支援しています。グローバル企業は、大湾区内で拡大するビジネスサービスのニーズに対し、香港から対応することができます。
- 大湾区は香港からわずか1時間程度の場所にあり、比較的裕福でその富を増やしつつある7千万人の消費者基盤を有しています。

最後に、国際金融センターとしての香港の地位は、一帯一路構想の目的にかなう投資と金融のプラットフォームやグリーンファイナンスの中心としての一層の拡大、オフショア人民元やコモディティなどのリスク管理ツールの開発、そして中国本土と香港の住民が互いの市場で金融商品へ投資できるチャンネルの着実な拡大を、それぞれ可能にします。

インベスト香港はこれからも、大湾区の発展がもたらす開発機会の理解と活用において、世界中の企業を引き続き支援していきます。

開発計画大綱の全文は以下リンクを参照ください。

 www.bayarea.gov.hk/filemanager/en/share/pdf/Outline_Development_Plan.pdf

国際イベント・スケジュール

4月2日、香港

マリンマネー香港船舶金融フォーラム

世界有数の海運拠点である香港で、国際海運・金融関係者を対象とした年次会合を開催します。

場所：ルネッサンス香港ハーバービュー・ホテル

主催：マリンマネー

▪ marinemoney.com/forum/HK19

4月9日、東京

広東・香港・マカオ大湾区シンポジウム

香港、広東、マカオ、日本の著名な政財界リーダーがスピーカーとして参加。大湾区やそこで生まれるビジネス機会について深い理解が得られるシンポジウムです。

場所：帝国ホテル 東京

主催：広東省人民政府、香港特別行政区政府、マカオ特別行政区政府

登録：form.qooker.jp/Q/auto/en/greaterbayarea/sympo.jp

4月15～16日 香港

インターネット経済サミット

この地域におけるデジタル経済の旗艦イベントです。企業がデータ駆動型のイノベーションを用いて、相互につながった世界でビジネス機会を活用する方策を詳しく検討することを目的とします。2日間にわたるサミットのテーマは「デジタル経済—未来を再定義」。世界の技術開発の最前線で最もホットなトピックにおいて破壊的な影響力を持つ業界の著名人、企業トップ、世界各地の起業家が一堂に会して、デジタル経済の未来へのビジョンを提示します。

場所：香港コンベンション・アンド・エキシビション・センター

主催：香港特別行政区政府とサイバーポート

▪ ieconomysummit.hk

4月17日、香港

国際紛争解決会議 2019

紛争解決の新たな動向や、「仲裁による国際和解合意に関する条約」が国際的なビジネス環境に与える影響について議論を促進することを目的としています。

場所：香港コンベンション・アンド・エキシビション・センター

主催：国連国際商取引法委員会、香港和解中心、国際争議解決・リスク管理協会

▪ mediationcentre.org.hk

4月17日、香港

シリコンドラゴン香港 2019

中国本土とシリコンバレーから、一流ベンチャーキャピタリストやテック起業家とその投資家が参加し、パネルディスカッションやテクノロジーに関する意見交換を行います。AI、ロボット工学、フィンテック、バイオテクノロジーなどにおける中国の最先端技術に焦点を当てます。

場所：香港サイバーポート

主催：シリコンドラゴン

▪ silicondragonhk2019.eventbrite.com



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

5月7～10日、香港**HOFEX**

アジアを代表する食品とホスピタリティの展示会です。アジア市場向けの食品・飲料、ホスピタリティ機器、サプライ関連製品の分野で、最も幅広いセクションが披露されます。

場所：香港コンベンション・アンド・エキシビション・センター

主催：UBM アジア

▪ hofex.com

5月23日、香港**北欧コミュニティ交流レセプション**

北欧企業による香港への貢献に対する感謝の気持ちを表す交流レセプションです。

場所：香港

主催：インベスト香港（招待制）

5月24日、香港**RIGS 香港年次会議 2019**

地域と世界のジレンマを明らかにし、専門家や政策当局者にとって賢明な都市計画を検討、香港が緑の革命の中心的存在になる方法を探ります。

場所：グランドハイアット香港

主催：英国王立チャータード・サバイヤーズ協会 (RIGS)

▪ rics.org/en-hk/events/conferences-seminars/hkconf19

5月30日、香港**HKVCA 中国プライベート・エクイティ・サミット 2019**

この旗艦イベントには、600人を超えるベンチャー・キャピタルやプライベート・エクイティの実務家、大手企業、その他の業界専門家などの参加者が地域全体から集まります。

場所：香港コンベンション・アンド・エキシビション・センター

主催：香港ベンチャー・キャピタル・アンド・プライベート・エクイティ協会

▪ cpes.hkvca.com.hk

6月13日、香港**外資系・中国本土系の香港新規進出企業レセプション**

香港に新しく設立された外国企業と中国本土企業を歓迎する交流レセプションです。

場所：香港

主催：インベスト香港（招待制）

■ **インベスト香港主催行事**

詳細については、www.investhk.gov.hk をご覧ください。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

インベスト香港顧客紹介

■日本

Asia Human Development Limited は、G. A. コンサルタンツ株式会社の香港拠点として、「一人でも多くの人材を香港へ招き、在港日本企業をはじめとしたより多くの企業を支援する」という事業理念の実現を目指しています。人材ビジネスにおける確かな経験のもと、香港と東南アジア市場に焦点を当てている会社です。

同社は日本とアセアン諸国の間でビジネスチャンスを生み出しています。G. A. コンサルタンツ株式会社の G. A. は、「General Agents in the Growing Asia（成長するアジアビジネスの総代理人）」の G と A を表しています。人材ビジネスでこれまでに培ったノウハウと経験を活かし、香港をはじめとするアジアの経済発展に貢献し、「成長するアジアビジネスを代表する」存在でありたいと願っています。

産業部門：人材紹介コンサルタント
gagr.co.jp

進化し続ける本物の大阪の味を提供することで、千房は日本のお好み焼レストランビジネスをリードしています。お好み焼の魅力と鉄板焼の技の世界を体験できます。1973 年創業の千房は、世界のお好み焼の中心地である大阪において多数のレストランを展開しています。

千房は海外店舗数を積極的に増やし、世界中で日本食の知名度がさらに上がるよう目指しています。香港は常に国際的なハブであり、千房が世界とつながり、そのブランドを市場で成功させるための理想的な場所です。千房は旺角（モンコック）の T. O. P. に香港 1 号店を開業しました。

産業部門：日本の鉄板焼レストラン
m.facebook.com/chibohongkong

日本の東京に本社を置く weConnect は、各国の会計、財務および税務の業務を集中して管理される多国籍企業に対して、担当窓口や担当チームを一つに集約し、最適なシステムを活用し、最高のグローバルソリューションをもって各サービスを提供している事務所です。一ヶ国の一つの事務所を管理する場合であっても、複数ヶ国の複数の事務所をグローバルに管理する場合であっても、weConnect は、貴社の財務機能を担う革新的な方法を提供することができます。

国際金融センターとしての香港は、企業がアジア諸国に進出するための重要な玄関口であることが証明されておりますが、weConnect は、多国籍企業に weConnect のグローバルソリューションを推進するために香港に事務所を開設致しました。

weConnect は、マレーシアにあるグローバルビジネスセンターにて weConnect の顧客のための国際的な会計機能を効果的に担っています。給与計算、税務、法務にかかるサービスは、グローバルプロバイダーによって各サービスを提供しております。

産業部門：ビジネスサービスプロバイダー
goweconnect.com



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局